

**「SNW対話イン九州大学 2019」 事後アンケート結果**  
(令和元年12月16日開催)

纏め：梶村 順二

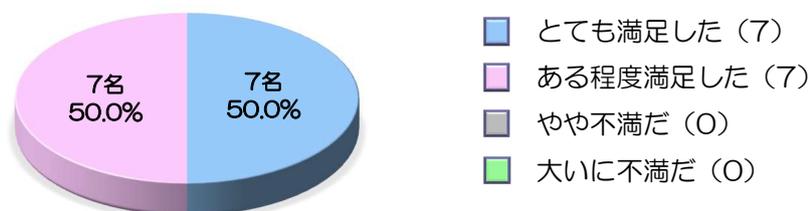
\*参加者（アンケート回収数 14）

(内訳) ・大学3年・・・2名  
 ・大学4年・・・6名  
 ・修士1年・・・4名  
 ・修士2年・・・2名

		大学3年	大学4年	修士1年	修士2年	計
就 職	電 力	0	1	1	1	3
	原子力関連メーカー	0	0	1	1	2
	メ ー カ ー	0	0	2	0	2
	そ の 他	1	1	0	0	2
進 学	原子力系分野	0	3	0	0	3
	そ の 他	0	1	0	0	1
計		1	6	4	2	13

※ 無回答者1名がいるため、合計値は全体数（14）と合致しない。

(1) 講演の内容は満足いくものでしたか？その理由は？

**[とても満足した]**

- 様々な意見を聞く、さらに勉強することができた。
- お互いの意見を尊重し、良い話し合いができたから。
- 新聞、インターネット、マスコミの情報からは知り得ないことを多く知ることができた。

**[ある程度満足した]**

- とても良かった。ただ、資料を坦々と読んでいて少し頭に入りにくかった。
- 普段聞くことのできない現場の人の意見を聞くことができて良かった。
- 新規堰基準について中身の詳しい取り込みまでは知らなかったため勉強になった。
- 原子力発電についての知識を整理することができた。
- 再稼働にあたっての苦労が感じ取れた。

## (2) 対話の内容は満足のものでしたか？その理由は？



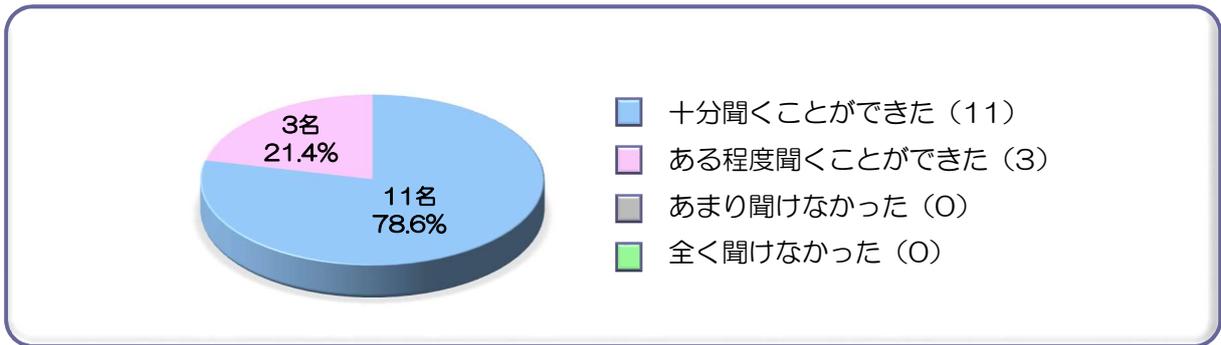
### 【とても満足した】

- 原子力分野以外の発電に関しても聞いて良かった。
- じっくりと問題点、メリット等、話し合うことができた。
- 深い部分まで聞くことができた。
- 新しい情報を得られたから。
- 自分の知らなかった知識を沢山得ることができた。
- 原子力発電を取り巻く環境について知ることができ、技術的な問題以上に政治・社会的要因に大きく左右されている現状を知ることができた。
- 再稼働や新設について詳しい話を聞いて、自分が将来どんな仕事につきたいか悩んでいたのもので、その参考になると感じた。

### 【ある程度満足した】

- 他学部の人がいたので自分とは違う意見も聞いて、自分の考え方が少し変化があって良かったと思います。
- 専攻内容への見識を深めることができた。

### (3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？



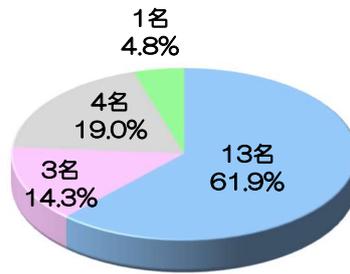
#### [十分聞くことができた]

- 事前質問への回答がしっかりしていたから。
- 時間も十分かけて話すことができた。
- 事前質問とその背景まで聞くことができた。
- 地層処分へ懸念していた問題点が解決できた。

#### [ある程度聞くことができた]

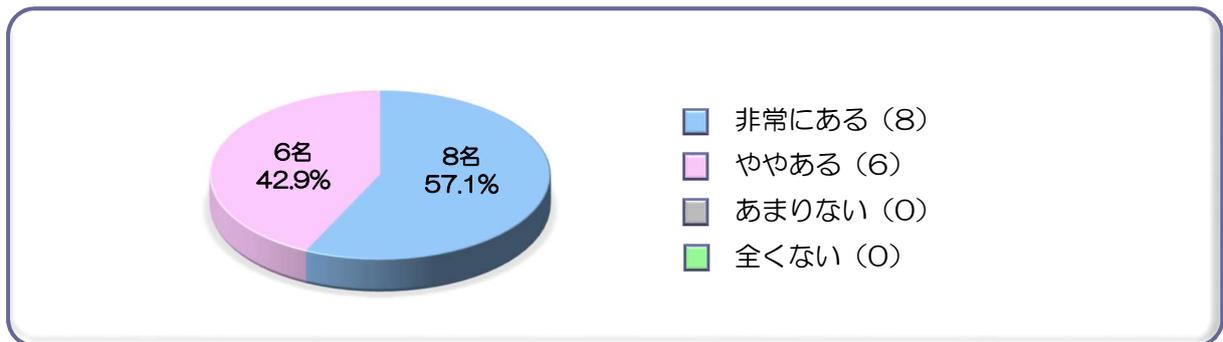
- 特になし。

(4) 今回の対話で得られたことは何ですか？（複数回答も可）



- 新しい知見が得られた（13）
- マスコミ情報と今回の対話会情報に違いがあった（3）
- 自分の将来の進路の参考になった（4）
- 教育指導の参考になった（1）
- 特に新しい知見は得られなかった（0）
- その他（0）

(5)「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？その理由は？



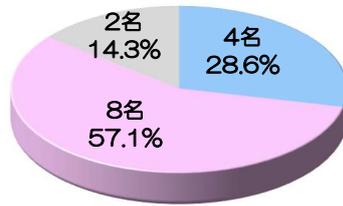
**[非常にある]**

- 普段知ることのできない内容を知ることができる。
- 原子力の第一線で働かれていた方と話すことで非常にためになった。
- お互いに意見交換をすることができる。
- 絶対に知識を新しくつけられるから。
- お互いに知っていること、知らないことを言い合うのはおもしろい。
- 日本のエネルギー事情を知らず、原発再稼働に反対している人が多いので、原発の必要性を広めるためにも、学生とシニアの対話は大切だと思うから。

**[ややある]**

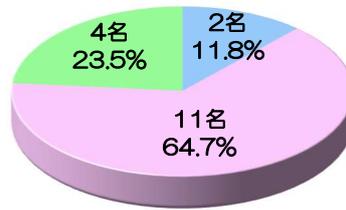
- 今回新しい発見ができたので必要だと思った。
- 若い世代の意識、世論を変える1つのキッカケになると思う。
- 世代間の認識のギャップを埋め合わせることができるため。

(6) 今後、機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか？



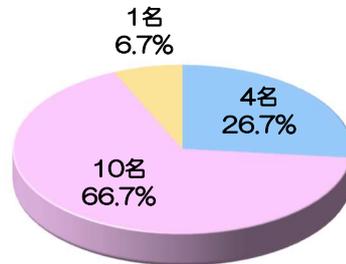
- まだまだ話したりないので参加したい (4)
- もっと知識を増やしてから参加したい (8)
- 十分話ができたらもういい (2)
- 二度も必要ないと思うからもういい (0)
- その他 (0)

(7) 放射線、放射能に対してどのようなイメージを持っていますか？（複数回答も可）



- 放射線、放射能はやはり怖い（2）
- 一定のレベルまでは恐れる必要はないと以前から知っていた（11）
- 一定のレベルまでは恐れる必要がないことを講演、対話から理解できた（0）
- 放射線、放射能は生活に有用であることを以前から知っていた（4）

(8) 日本のエネルギー政策では、原子力発電を基幹電力（2030年に発電電力量の20～22%）とし、省エネ・再エネ利用の拡大や火力の高効率化により、可能な限り削減していくとされています。対話も含めてあなたの認識は次のどれですか？その理由は？（複数回答も可）



- 原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない（4）
- 原子力発電の必要性は分かっていたので、対話の前後で認識は変わらなかった（10）
- 原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから早期に削減又は撤退すべきだ（0）
- 原子力発電を止め、再生可能エネルギーを最大限使えばよい（0）
- その他（1）

[原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない]

- 今後のエネルギー問題は、原子力なしでは相当シビアである。

[原子力発電の必要性は分かっていたので、対話の前後で認識は変わらなかった]

- 原子力発電の必要性の議論は科学的には答えが出ているように思う。後は政治、哲学の問題。

[その他]

- エネルギーミックスを考慮し、然るべきバランスの元に計画を立てるべき。

(9) 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

- 原子力は安全だから大丈夫という話はよく聞いていたが、今のエネルギー事情のどこがまずいのかという話も聞けたので良かった。また、このような機会があれば参加したいです。
- 原子力発電は工学的な技術の結晶であり、その技術の流出・消滅は日本にとってかなり痛手である。感情的な議論で理性的な判断が出来なくなってしまうのは良くないことだと考える。また、私は将来、内燃機関の研究をしたいと考えているが、メディアや欧州によるCO<sub>2</sub> 悪者にする議論によってここでも風向きが強くなっている。このようなある種のプロパガンダには私は懐疑的である。
- 僕たち自身、この題材について考える機会を得たことは大きかったと思います。